

桑名市議会議員  
愛敬 重之

**北勢地域 若者サポートステーションオープニングセレモニー開設記念講演参加**

全員協議会が終了してから、北勢地域若者サポートステーションオープニングセレモニーに参加してきました。松井代表挨拶、西川所長挨拶、来賓挨拶では三重労働局 水野部長と四日市田中市長の挨拶がありました。



西川所長からは、「時代の変化や企業の変化に追いつけていない若者が増加しています。家族ややさしい企業などネットワークを築いて就職につなげていきたい。」と挨拶がありました。その後、若者からのメッセージでは30代の2人から、「以前は津市まで行っていたが四日市に出来、近くなったので何とか就職に向け努力していきたい。」や「両親の期待に応えられず就職出来なかった。しかし、近い四日市に出来たので相談をしてなんとかしたい。」など切実な思いがメッセージとして司会者からありました。



その後、3市5町（四日市市、桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員、菰野町、朝日町、川越町）代表者によるテープカットがありました。

（講義では、徳島大大学院の野中氏と臨床心理士の池田氏の講義がありました）



【講演主な内容です】

**ひきこもりの定義**

- 様々な要因の結果として**社会的参加**（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には**6ヶ月以上**にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形で外出をしてもよい）を指す現象概念である。
- 義務教育期間を中心とする**不登校の中核群**もひきこもりに含めて考えることが推奨されている。

ひきこもり本人の年齢と初発平均年齢については、2008年から30代と高年齢化しているようです。

ひきこもりの期間については、平均で10年だそうです。

**ひきこもりとニートの快復については**

段階1 すっかり引きこもって誰にも会わない状態。

- ・誰とも言葉を交わさず、姿も隠す。
- ・家族と話すが外へ出ない。

サポートステーションの役割

- アウトリーチ（訪問支援）●家族会●親の学習会

段階2 買い物や散歩に出るが、友人はいない

- ・特別な店や、夜にしか出ない。
- ・昼も買い物に行けるが、友人は作らない。

サポートステーションの役割

- アウトリーチ（訪問支援）●家族会●親の学習会

・引きこもりの方は真面目な方が多いです。  
 ・引きこもりが治る前は、手におえなくなる時があります。  
 その時こそ、サポートステーションを利用下さい。

段階3 居場所に行っている。

- ・居場所で一人である。
- ・友人、仲間が出来始める。

サポートステーションの役割

- スタッフは声かけをする●来なかったら電話・手紙・携帯メールをする

・居場所とはサポートステーションです。

・友人も一人ではダメ、多くの友人を作る。

段階4 仲間が出来てくる

- ・仲間同士でコミュニケーションができる。
- ・バイトを考えたりする。

サポートステーションの役割

- 仲間の間でメールができる。●行動を一緒にできる。

段階5 バイトに行き始める。

- ・バイトの電話かけやハローワークに行ける。
- ・居場所が使える。

サポートステーションの役割

- 友人がいない場合はジョブコーチをつける。

段階6 バイトがやめられる。

- ・NO と言える。
- ・自分の体調がわかり、相手に伝えられる。

サポートステーションの役割

- 思春期の最後の段階の自分の意志が伝えられるようになっている。

・家族の方は、あいさつでもいろいろなしパーティーを持って会話。

・他人に甘えるのが自立なんですと良く言っています。

段階7 就労を考える

- ・何が自分に向いているか、就労を考える。
- ・自分で、人とコミュニケーションを取ることができる。

サポートステーションの役割

- やさしい企業、障がい者の入っている福祉的な企業を集めておく  
(社会貢献の意識の高いところ)

・ハローワーク推薦企業だとやさしい企業ばかりではないので注意する。

・若者をこれから受け入れる企業の考え方。

・これからの若者の変化にも敏感になってほしい。

野中先生、池田先生本当にありがとうございます。

私も大学3年・2年・高校2年の子どもがあります。

今以上に子どもには、あたたかい言葉をかけていきたいと思いました。

サポート対象者

## 若者の方

働きたい気持ちがあってもなかなか思うようにいかないあなた・・・一人で悩んでいませんか。「ほくサポ」に来てください。きっと何かが見つかるはずです。新しい一歩をふみだしてみませんか。そんなあなたを待っています。

- 就職したが続かない
- 社会の中に出て行く勇気がない
- 何かをしたいが何をしたらいいかわからない

## ご家族の方

働いていない家族が気がかりな方、どう関わったらよいか戸惑ってみえる方、その思いをここで話してみませんか。お一人で抱え込まずに、一緒に考えていきましょう。話すことによって、新しい気づきがあれば、気持ちも楽になります。

一人で悩まず相談してください。一緒に考え就労の扉を開きましょう。



相談風景



## 地域若者サポートステーション とはこんなところ!!

地域若者サポートステーション(愛称:「サポステ」)は、働くことについてさまざまな悩みを抱えている15歳~39歳くらいまでの若者のみなさんが就労に向かえるよう、多様な支援サービスでサポートします。

サポステは、厚生労働省からの委託を受けた全国の若者支援の実績やノウハウのあるNPO法人、株式会社、社団法人、財団法人、学校法人などが実施しており、平成22年度は全国100か所に設置されています。

就労に関する様々な相談におこたえします。次なる一歩への道を一緒にさがしていきましょう。

支援の流れ

## 相談受付

(来所・電話・メール)

内容によって、個人の目標を設定し、繰り返し相談支援をおこないます。

それぞれの目標に応じた支援計画を立て、それに添って一緒に歩んでいきます。(あせらず、一人一人のペースで進めます。)



進学・就職などの進路決定  
をめざします。

僕にも出来た!  
仕事が  
見つかったよ!



サポーター企業募集中!!

北勢地域若者サポートステーションでは、就労体験受け入れや企業見学等の受け入れ先企業を募集しています。若者たちに、働く希望や喜びを提供するためにも、ご協力をお待ちしています。

## 出張相談【予約制】

●相談時間  
13:30～17:00

●出張相談in桑名●  
毎月第2・第4水曜日

桑名会場【くわなメディアライヴ】  
三重県桑名市中央町3丁目79番地



●出張相談inいなべ●  
毎月第3水曜日

いなべ会場【いなべ市藤原庁舎】  
三重県いなべ市藤原町市場115番地



## サポステの業務内容

- 総合相談(若者・家族)
- 開所時間  
9:30～18:00 ※相談は予約制
- 毎週火曜日～土曜日まで開所

## お休み

- 毎週日曜日・月曜日
- 年末年始



北勢地域若者サポートステーション  
〈受託団体:特定非営利活動法人 市民社会研究所〉

〒510-0085 三重県四日市市諏訪町6番11号ピュアコート104号  
TEL (059) 359-7280 FAX (059) 359-7281



E-mail wakamono@hokusapo.com  
ホームページ http://hokusapo.com



厚生労働省委託事業

愛称: ほくサポ



働くことに悩む若者の  
自立をサポートします。

【対象地域】

四日市市・桑名市  
いなべ市・木曾岬町・東員町  
菟野町・朝日町・川越町